

# ひろば 大代

平成二12.7  
大代公民館

## 郷土の活生化へ

―平成二年度十大ニュース―  
平成2年

1月 大田市市議会議員改選

大代町から市原仁郎氏が出馬、高得点で当選喚声に湧く。

3月 大田市消防団大代分団長、中垣

昌文氏が消防庁長官表彰受賞。

3月 八年前に亘り公民館長として活躍された橋本昭二氏が勇退され、

代って田辺孝氏が就任。

5月 下市出身催華さん(山根久子さん)金玲さん中国より帰省、公民館で盛大な歓迎会が開かれた。

7月 優良公民館として島根県教育長表彰を受賞。

8月 都市とふるさとを結ぶ交流の会が開かれ、郷土出身者多数を迎え盛大な歓迎パーティ、田中公道氏のオペラや郷土芸能発表会などで賑わう

8月 異例の猛暑、連日30度を越す記

録破りの天候に見舞わる。

9月 高山登山道下刈り整備。

地元自治会を始め30余名が参加縦断コースが完了、山口、広島、江津市などから登山者しきり。

10月 花いっぱい運動に於て、個人の部、田辺孝氏が大田市最優秀賞に続いて島根県審査に於ても県奨励賞を受賞。

11月 かねて大田市と姉妹縁組にある岡山県笠岡市へ大代中学校、田植ばやし愛護少年団が交流の為、出演し堂々たる演技が満場の拍手と共に大好評を博す。

11月 大代小学校、少年卓球クラブ、島根県大会(平田)に於て、男子団体優勝! 女子準優勝! 個人でも男子三位、女子二位と三位に夫々入賞、大活躍!

### 島根県小学生卓球大会

大代っ子大活躍!

大代小学校

去る十一月二十五日、平田市立体育館に於て、第九回島根県小学生卓球大会が行われ、大代小児童は昨年に優る

すばらしい成績を納めました。

本年は参加チームが多く、東は松江西は益田から男子48チーム、女子26チームの参加があり、個人戦では男子168名、女子88名もの選手が出場しました。開会式では、昨年男子優勝チーム大代小の原田美寛君が優勝旗を返還しました。九時に試合が始まり、夕方六時頃まで熱戦が繰り広げられました。

大代小は四年以上全員が出場し、それぞれに自分の力を出し尽くし、善戦しました。

### 団体戦

男子 一位 女子 二位

### 個人戦

男子 三位 後藤克也君

女子 二位 渡 良子さん

〃 三位 山下静江さん

夫々すばらしい成績を納めました。

### 生涯学習、笠岡

公民館フェスティバル(お祭り)

「一」学んで実践地域に生かそう」

平成2年11月24日、於岡山県笠岡市々民会館大ホールで大代中学校、田植ばやし愛護少年団交流出演、大

な事です。消火器の普及により以前だと火災に成っている事故が今でも毎年数件、未然に防がれています。かまどの薪やこたつの炭火がガスや電気、石油に替わっています。

ガスコンロでのてんぷら作りの時、ガス湯沸器の種火の消し忘れ、石油ストーブへのガソリンの給油、電気器具の取扱等の間違えが一瞬にして火災は大きくなり、又、新建材による煙の為に人命を失う事故が多発しています。毎日の慣れが火の取扱に対して鈍感になり、火の恐ろしさに無関心になっていくのではないのでしょうか。

『まず消そう、火への鈍感、無関心』これが全国統一の防火標語です。万一の時は落ち着いて初期消火の出来る様日頃から心掛けて下さい。

尚消火器を使用されたら必ず消防団員の方へ詰め替えを申し出て下さい。いつ次の事故が起きるかも分かりません。今後とも火災予防と、消火活動にご協力頂きます様お願いします。

町内を巡回して啓蒙活動を行います。みんなで明るいお正月を迎える為に努力致したいと存じます。

健康 (骨折について)

―骨は生きています―

重い物を持った途端に腰が痛くなりそれきり起き上がる事が出来なくなった。物につまづいて手を前に突いたら手首の骨が折れた。雪道で滑って転んだはずみに足の骨が折れた。いずれも骨折になったわけですが、そんな事だと思ふ様な一寸した事が原因で簡単に骨折になってしまふ。

若い時には信じられない事ですが、お年寄りにはこうした骨折は増えていきます。運動神経が鈍っているせいもあるでしょうが、これは骨が想像以上にもろくなっている証拠です。

「骨は大人になっても生きています」

ところで新陳代謝という言葉があります。骨が他の細胞と同じ様に新しく入れ代って行くのです。

造骨と破骨と言うことが一定の周期を保って繰り返されています。

このサイクルは三ヶ月位と言われ、折れた骨が再びくっつくのもこの現象の

CHINA

お陰です。

その破骨(骨の吸収)と造骨(骨の形勢)のバランスが年を取るに従って崩れてしまふ。つまり吸収された骨が再形成されにくくなる為、長い間に骨の量が減少してしまひます。

老化は骨量の減少と言う事で表れて来ます。二十代をピークに年令と共に減って行きます。中年以上の入程減りかたが多く、男性に比べ女性は比率が高いと言われています。

特に骨粗鬆症は大根に鬆が入った様に骨がスカスカになる病気で、骨はもろくなって力が加われれば簡単に折れてしまふ事になります。

(東京大学医学部教授 折茂 肇)

「今回はこの骨粗症やその予防法」

◎おしらせ

右原 中垣土夫様  
桜の苗木に続いて銀木犀を御寄贈頂きました。厚く御礼申し上げます。

◆社協大代支部から

下市 渡 敏昭様  
弓久 和田公一様

香典返しに替えて金一封の御厚志を頂きました。厚く御礼申し上げます。

好評を受ける！

中学校教頭 高瀬 潔

大田市の姉妹都市である岡山県笠岡市からの招待を受け、去る11月24日、大代中学校生徒全員による小笠原流田植ばやし公演に出席致しました。

大代町を朝7時に出発し、5時間余りかけて笠岡市に着きました。1時からの式典に参加し4時から公演を行いました。

数千人の観衆の前で、赤や青の照明を浴びながら、広い舞台で堂々と公演をしました。会場からは公演の途中で何度も自然に拍手が湧き起こり、やっている生徒達も、引率していった私達も感激しました。このような事はこれまでの公演には無かった事でした。バスの長旅の疲れもふっ飛んでしまった様でした。

公演が終わり、舞台裏で着替えをしている生徒達の所へ、笠岡市の教育長さんや、大代町出身の一人のご婦人の方が「大変すばらしい公演だった」と感激してお礼に来られた事も忘れられません。

翌日は笠岡市当局の配慮により、笠

岡市立、カプトガニ博物館を見学させて頂きました。私達の為に特別に案内や説明をして頂き、大変勉強になりました。これも笠岡市での貴重な思い出となりました。

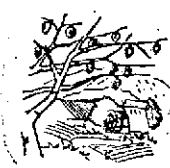
大田市の代表として大勢の人の前で堂々と公演をし、その責任を立派に果たした事は生徒達には生涯忘れられない感激の思い出となりました。

又学校生活の「コマ」としての、この体験はこの上ない励みになったと思われまます。大田市、笠岡市当局の皆様、大代町公民館の方のご配慮に対し、心から感謝申し上げます。

### 〓都市交流〓

東京石見高山会から

下市出身 渡 俊則



拜啓 秋も深まり、あちらこちらに木守柿や落ち葉をたく煙が見られるこの頃ですが皆様にはお変わりなく御活躍の事と存じ上げます。

去る十一月十一日には郷里から多忙の中を当地石見高山会に御出席頂き、盛大に交流の会が催されました事厚く御礼申し上げます。

尚その節は郷里の香りを御土産に頂き有難うございました。

その節、会場の都合で折角の小学生の方々の作品が披露出来なかつた事が残念に思いましたが、目下副会長楠義見様勤務先の学校で展示されて居り安堵致して居ります。

これを機会に未知の学校との交流により子供同志の親交が深まり、尚一層の都市とふるさとの交流が計られ、活生化の為に繋げれば幸いです。

十八日の御地での文化祭には多催の企画行事で御疲れの事だったのでしよう。これから年末にかけ色々と公民館も忙しくなる事と申します。益々御自愛ご専念の程を御祈り致します。

初期消火の大切さに思う

消防大代分団長 中垣昌文

平成二年も十二月に入り暖房器具の必要な時期と成りましたが町民の皆さんの火災予防に対する日頃からの心掛けにより、今年も火災の無い年が越せそうです。

だがここで皆さんに考えて頂きたい事があります。それは消火初期の大切